

第3回やないづ学校運営協議会 熟議の記録 (西山小) 部会

ア「『目指す子どもの姿』実現にむけた取組」

焦点化・重点化した内容	取組状況・児童生徒の様子	今後の課題・取組等
<p>【郷土愛】</p> <p>・地域の祭りやイベントに参加させたい。</p>	<p>▲敬老会・にしやま温泉まつりでの太鼓の発表依頼があったが、職員の勤務の都合で参加を断らざるをえなかった。</p>	<p>・太鼓を指導できる地域の人材とのつながり。学校主導から地域主導への移行することで、祝日のイベントにも参加しやすくなる。その際、地域の唄や笛、太鼓などを教えてくれる人材とのつながりをつくる。</p> <p>・コーディネーターが、まつりで唄を担当している人と学校をつなげてくれた。</p> <p>・フリーな感じのワークショップで、多くの人から意見を集め、人材確保へとつなげたい。</p>

地域での太鼓の発表は、子ども達にとっても地域の人にとっても良かった。今後、地域の太鼓としてつないでいくことが課題。そのために、地域のまつり等で地域の皆さんと一緒に体験することなどをおして、地域の伝統として根付いていけばいい。地域の人を集めお願いするための人材バンクが必要で、コーディネーターさんに尽力いただいたり、学校でワークショップを開き地域の方を募りながら、人材バンクを創っていったらどうか。

広報の具体策（いつ、どこで、だれが、どのように）

	取組等の状況	今後の課題・取組等
児童生徒へ		
保護者・家庭へ	・年間行事予定、HP、家庭配付文書。	・年間行事予定。 ・年間行事予定ではなく、新しく取り組む活動については町のシステムや観光課の協力を得て発信できれば。
地域へ	・区長文書による回覧版	・HPの周知。地域の人のメールシステムへの登録。 ▲学校で太鼓の発表をする際、地域の人への移動手段の確保。

イ 各学校、地域ならではの課題解決（観光、防災、安全、少子化等）

校長が特に協議を求めた内容	取組等の状況	今後の課題・取組等
・校内に掲示するための写真提供	・学校へ行こう週間に、「令和7年度私が創る柳津町未来プロジェクト」の一環として、写真展を本校で開催する予定。子どもたちが写真を鑑賞して郷土の良さを感じるとともに、地域の方々に来校していただき、学校を身近に感じてもらいたい。	・教職員の理解と協力が必要。教職員は普段の教育課程を実施することに目一杯なところがある。今回は教職員の負担は少なく、何とか理解を得ることができた。学校運営協議会で話し合われた内容や情報を教職員に伝えていくことも必要。（教職員が参加しやすい時間帯に会を実施するのも一つの方法ではあるが、逆に、委員の方々が参加しにくくなる問題もある）

前回、学校をどう活用していくか話し合ったことから、町の方から話がまわり、11月6, 7, 8日の「学校に行こう週間」にあわせて、学校を活用した写真の展示を行うことが決まった。ここで話し合ったことがつながり広がり効果があった。

太鼓の件についてもワークショップなどにより話が広がり、人材バンクの確保、学校と地域のつながりというところにつなげていけたらよいと考える。

各学校、地域ならではの課題等	解決に向けた取組・全体で協議したいこと等
<p>▲地域の伝統（祭りの際の太鼓・笛・唄）の担い手不足。年配の方が多く若手がいらない。</p> <p>▲競い合う場、発表の場が少ない。</p> <p>（以前は日清カップに参加していた。大勢の前・知らない人たちの前での発表の場を経験させたい。）</p>	<p>・現在、まつりで活躍している人たちから、小学生が指導を受けることで、地域の伝統を守っていく。</p>

は、部会後の全体協議で報告された内容。